



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月22日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5204 URL <http://www.ishizuka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石塚 久継
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務部長 (氏名) 畔柳 博史 (TEL) 0587-37-2111
 四半期報告書提出予定日 2020年10月30日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年3月21日～2020年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	33,161	△14.8	264	△83.1	286	△80.1	△93	—
2020年3月期第2四半期	38,912	4.1	1,562	6.2	1,442	6.0	979	△28.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 519百万円(△23.8%) 2020年3月期第2四半期 681百万円(△57.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△22.25	—
2020年3月期第2四半期	233.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	86,869	28,378	29.4	6,111.38
2020年3月期	82,815	27,939	30.1	5,946.55

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 25,582百万円 2020年3月期 24,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	48.00	48.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 2021年3月期の配当につきましては、現時点では未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年3月21日～2021年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	△11.9	0	△100.0	100	△95.4	△250	—	△59.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 連結業績予想につきましては、本日(2020年10月22日)に公表いたしました「2021年3月期通期業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	4,219,554株	2020年3月期	4,219,554株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	33,496株	2020年3月期	33,438株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	4,186,092株	2020年3月期2Q	4,186,358株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料につきましては、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による休業要請や人の移動の制限などにより、経済活動が大きく抑制され個人消費も低迷するなど、景気は急速に悪化し極めて厳しい状況となりました。足元では、感染者数が減少傾向にあり徐々に経済活動が再開されているものの、特定の国・地域では同感染症が再拡大しているなど、先行きにつきましては一層の不透明感が広がっております。

このような状況の中、当社グループは当期を2年目とする3か年の中期経営計画『ISHIZUKA 2021～次の100年に向けて～』において、前中期経営計画から引き続き「グループ横断機能の更なる強化」を推進するとともに、最終年度である2021年度に「営業利益率5%の達成」及び「非容器事業を連結売上高の10%まで拡大」をめざして取り組んでおります。

しかしながら当第2四半期においては、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛や消費の低迷により大部分の主要セグメントの売上高が減少し、グループ全体の売上高は33,161百万円(前年同四半期比14.8%減)、営業利益264百万円(前年同四半期比83.1%減)、経常利益286百万円(前年同四半期比80.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失93百万円(前年同四半期は979百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)と前年を大きく下回る結果となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

<ガラスびん関連事業>

ガラスびんは、飲食店用途向けのビールびんや清酒びん及び焼酎びんの出荷が大幅に減少したことなどにより、売上高は6,330百万円(前年同四半期比21.9%減)となりました。

<ハウスウェア関連事業>

ガラス食器は、アルコールメーカー向けの業務用品及び景品の受注が減少したほか、梅の不作により貯蔵びんの販売も落ち込みました。陶磁器は、海外のエアライン及びホテル・レストラン向け並びに国内の百貨店、企業向けの受注が減少したことなどにより、セグメント全体の売上高は5,029百万円(前年同四半期比29.2%減)となりました。

<紙容器関連事業>

紙容器は、小学校の臨時休校による学乳向けの受注とテレワーク等による都市圏のオフィス需要が減少しましたが、家庭消費の需要があり、売上高は3,765百万円(前年同四半期比3.5%減)となりました。

<プラスチック容器関連事業>

プラスチック容器は、テレワークの実施などでオフィス街を中心に自動販売機やコンビニエンスストアでの販売が落ち込んだことによりPETボトル用プリフォームの主要ユーザーからの受注が減少し、売上高は15,035百万円(前年同四半期比12.2%減)となりました。

<産業器材関連事業>

産業器材は、ガスコンロ用トッププレートの受注が減少したものの、IHクッキングヒーター用トッププレートの受注が増加したことにより、売上高は805百万円(前年同四半期比3.0%増)となりました。

<その他事業>

抗菌剤は、国内及び海外市場の需要が大きく増加したことにより販売が拡大しました。金属キャップは概ね前期並みとなり、セグメント全体の売上高は2,194百万円(前年同四半期比15.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4,053百万円増加し、86,869百万円となりました。これは主に、現金及び預金並びに受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債合計は3,615百万円増加し、58,490百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金並びに有利子負債が増加した一方、その他(未払金)が減少したことによるものです。

純資産合計は438百万円増加し、28,378百万円となりました。これは主に、株価上昇に伴いその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。これらの結果、自己資本比率は29.4%(前連結会計年度末は30.1%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,728百万円増加し、4,353百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、620百万円（前年同四半期は3,784百万円の資金増加）となりました。資金増加の主な要因は、減価償却費及び仕入債務の増加等によるものです。一方、資金減少の主な要因は、売上債権の増加等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3,694百万円（前年同四半期は3,978百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、4,773百万円（前年同四半期は711百万円の資金減少）となりました。資金増加の主な要因は、短期借入金の増加、社債の発行による収入及び長期借入による収入によるものです。

一方、資金減少の主な要因は、長期借入金の返済による支出及び社債の償還による支出によるものです。

また、新型コロナウイルス感染症に関するリスクの対応策として、金融機関と総額2,000百万円のコミットメントライン契約を締結しており、資金の流動性を確保しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、第2四半期までの実績と足元の事業環境や現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定しましたので、公表いたします。詳細につきましては、本日（2020年10月22日）公表いたしました「2021年3月期通期業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,528	3,453
受取手形及び売掛金	11,682	14,530
有価証券	1,100	900
商品及び製品	13,072	13,160
仕掛品	740	857
原材料及び貯蔵品	4,424	4,205
その他	1,667	1,056
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	34,210	38,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,183	8,077
機械装置及び運搬具（純額）	7,364	7,118
土地	17,486	17,650
その他（純額）	7,338	7,066
有形固定資産合計	40,373	39,914
無形固定資産	152	200
投資その他の資産		
投資有価証券	6,218	6,809
その他	1,694	1,529
貸倒引当金	△21	△23
投資その他の資産合計	7,890	8,315
固定資産合計	48,416	48,430
繰延資産	187	278
資産合計	82,815	86,869

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,507	9,272
短期借入金	8,836	9,687
1年内償還予定の社債	1,075	1,010
未払法人税等	519	335
賞与引当金	696	679
その他	8,855	6,567
流動負債合計	27,490	27,553
固定負債		
社債	6,739	9,645
長期借入金	2,633	3,755
役員退職慰労引当金	72	74
汚染負荷量引当金	467	456
退職給付に係る負債	5,564	5,563
その他	11,906	11,442
固定負債合計	27,384	30,937
負債合計	54,875	58,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,344	6,344
資本剰余金	4,600	4,600
利益剰余金	7,256	7,368
自己株式	△85	△85
株主資本合計	18,115	18,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,659	2,256
繰延ヘッジ損益	31	△16
土地再評価差額金	5,340	5,340
為替換算調整勘定	1	△8
退職給付に係る調整累計額	△255	△216
その他の包括利益累計額合計	6,776	7,354
非支配株主持分	3,046	2,795
純資産合計	27,939	28,378
負債純資産合計	82,815	86,869

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月21日 至2020年9月20日)
売上高	38,912	33,161
売上原価	31,252	27,381
売上総利益	7,660	5,780
販売費及び一般管理費	6,098	5,515
営業利益	1,562	264
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	84	95
受取賃貸料	100	123
雇用調整助成金	—	99
その他	80	86
営業外収益合計	268	406
営業外費用		
支払利息	179	157
賃貸収入原価	57	70
その他	151	157
営業外費用合計	387	384
経常利益	1,442	286
特別利益		
受取保険金	136	—
特別利益合計	136	—
特別損失		
早期割増退職金	23	—
投資有価証券評価損	—	23
固定資産除却損	—	95
特別損失合計	23	119
税金等調整前四半期純利益	1,555	167
法人税、住民税及び事業税	438	259
法人税等調整額	47	△87
法人税等合計	485	172
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,069	△4
非支配株主に帰属する四半期純利益	90	88
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	979	△93

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,069	△4
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△407	545
繰延ヘッジ損益	△3	△49
為替換算調整勘定	△5	△10
退職給付に係る調整額	28	38
その他の包括利益合計	△387	523
四半期包括利益	681	519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	648	529
非支配株主に係る四半期包括利益	33	△10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,555	167
減価償却費	2,172	2,245
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	22	△16
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	1
汚染負荷量引当金の増減額(△は減少)	△11	△11
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△33	49
受取利息及び受取配当金	△87	△97
支払利息	179	157
投資有価証券評価損益(△は益)	—	23
為替差損益(△は益)	44	20
雇用調整助成金	—	△99
受取保険金	△136	—
早期割増退職金	23	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,144	△2,871
たな卸資産の増減額(△は増加)	△569	△252
未収入金の増減額(△は増加)	125	△72
前渡金の増減額(△は増加)	△31	13
仕入債務の増減額(△は減少)	1,204	1,776
未払費用の増減額(△は減少)	299	△71
その他	215	118
小計	3,830	1,081
利息及び配当金の受取額	87	97
利息の支払額	△181	△154
早期割増退職金の支払額	△23	—
保険金の受取額	136	—
雇用調整助成金の受取額	—	64
法人税等の支払額	△64	△468
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,784	620
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△400	—
定期預金の払戻による収入	4	4
有形固定資産の取得による支出	△3,514	△3,658
有形固定資産の売却による収入	67	14
投資有価証券の取得による支出	△10	△116
投資有価証券の売却による収入	—	111
貸付けによる支出	△81	△4
貸付金の回収による収入	2	2
その他	△45	△47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,978	△3,694

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△375	4,280
長期借入れによる収入	—	1,670
長期借入金の返済による支出	△1,469	△4,155
社債の発行による収入	—	3,531
社債の償還による支出	△430	△808
セール・アンド・リースバックによる収入	2,535	1,238
リース債務の返済による支出	△665	△754
配当金の支払額	△272	△200
非支配株主への配当金の支払額	△33	△26
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△711	4,773
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	△18
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△921	1,681
現金及び現金同等物の期首残高	3,534	2,624
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	47
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,612	4,353

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 器 材 連 関	業 材 連 関				
売上高										
外部顧客への売上高	8,106	7,101	3,902	17,121	782	37,015	1,897	38,912	—	38,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	12	—	250	—	263	3,135	3,398	△3,398	—
計	8,106	7,113	3,902	17,372	782	37,278	5,033	42,311	△3,398	38,912
セグメント利益又は 損失(△)	△130	104	156	1,366	23	1,520	41	1,561	0	1,562

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円には、たな卸資産の調整額1百万円、その他△0百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 器 材 連 関	業 材 連 関				
売上高										
外部顧客への売上高	6,330	5,029	3,765	15,035	805	30,967	2,194	33,161	—	33,161
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	12	—	195	—	208	2,777	2,985	△2,985	—
計	6,330	5,042	3,765	15,230	805	31,175	4,971	36,146	△2,985	33,161
セグメント利益又は 損失(△)	△984	△446	143	1,294	53	61	203	264	0	264

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円には、たな卸資産の調整額0百万円、その他△0百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。